

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	地区集会所管理事業			
担当部署・課長名	地域振興	課	市民センター	係 課長名 大法 努

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	5 - 3	-
【施策名】 共に支えあう地域社会の確立	総合計画書 (ページ)	110	

予算名	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 13	市民センター管理事業	事業	清水・湖畔・芋窪・玉川上水・仲原の各地区集会所管理費
-----	-----	-----	-----	-------	------	------------	----	----------------------------

1	この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 東大和市民 →	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 市の人口(4月1日現在)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 地域の学習活動、自治会活動、レクリエーション活動等により、コミュニティ活動の活性化に結びつける。 →	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ①年間利用件数/年間利用可能コマ数 ②前年度を基準とした利用率	
	③ そのために何をしましたか。 フローリング形式の集会所、和室を備えた単独の集会所の管理運営(玉川上水は集会所のみ、駐車場も無)。地区集会所5施設(清水・湖畔・芋窪・玉川上水・仲原)の貸出及び維持管理。市民の学習、集会等の場を提供している。貸出区分は午前・午後・夜間の3区分。シルバー人材センターに施設管理委託を行っている。 →	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①延べ利用件数 ②延べ利用人数	

2	指標の推移		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	人	86,044	85,857	85,698	/	/
		成果指標	②の数値	%	① 4,769/9,693 ② 約99%	① 4,514/9,693 ② 約99%	① 4,570/9,693 ② 約100%	/	/
		目 標	②の目標値	%	100%	100%	100%	100%	100%
		目標設定の考え方							
活動指標	③の数値	人	① 4,769 ② 49,239	① 4,514 ② 46,480	① 4,570 ② 45,568	/	/		

3	経費	事業費(実績)		円	21,295,241	21,396,634	22,492,467	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
		財源	一般財源	円	21,278,221	21,379,294	22,471,987	
			特定財源	円	17,020	17,340	20,480	
			(うち受益者負担)	円	17,020	17,340	20,480	
		人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5	
			所要人数(再任用)	人	1.5	1.5	1.5	
		職員人件費(再任用以外)	円	4,133,500	4,126,500	4,122,000		
職員人件費(再任用)	円	4,461,000	4,461,000	4,528,500				
事業費+人件費	円	29,889,741	29,984,134	31,142,967				

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	清水(S61)芋窪(H6)仲原(H7)湖畔(H9)玉川上水(H26)に開所。市民の集会等の場の提供を目的としている。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
		地域の集会施設として開所したが、他の地域のグループの利用が目立ってきている。利用者数は増加の傾向がある。	

仕 事 の 内 容	地区集会所管理事業			
担当部署・課長名	地域振興	課	市民センター	係 課長名 大法 努

5 市 民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	<p>一部の施設は、地域の方と結びつきが非常に強く、その地域の利用者が多い。その中には、自身が使いやすいように独自に改修したいという意識を持たれている利用者の方もいる。</p> <p>1施設で老朽化した会議用テーブルを新しくした。また、同施設で椅子の台車設置が要望されたため、平成31年度に予算化した。高齢の利用者から、施設の玄関に手すりや椅子の設置が求められた。</p>			
6 市 民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組んだ	取組手法	<p>⑦</p> <p>【取組手法の種類】</p> <p>①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）</p>	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容			
	<p>施設の老朽化に伴い、空調機器、自動ドア等の故障が増えている。建物本体の内外装の経年劣化による損傷もあるため、大規模な改修、修繕が必要である。予防修繕が行えなかったため、台風による屋根損壊が起こり、隣接家屋に損害を与え、損害賠償が発生した。</p>			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	<p>1施設で畳表替えを行なった。また必要な修繕を随時、実施した。予防修繕が行えなかったため、台風による屋根損壊が起こり、隣接家屋に損害を与え、損害賠償が発生した。</p>			
8 今 後 の 方 向 性	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	<p>台風による損害賠償を踏まえ、公共施設包括管理による施設点検により、早い段階で修繕計画を策定し、必要な施設は大規模修繕等を実施する必要がある。</p>			
	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	<p>公共施設等マネジメント課で策定した「公共施設等総合管理計画」に沿って順次、長寿命化計画又は長期修繕計画を策定し、大規模修繕、改修を考えたい。</p>			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
<p>全体的な公共施設の配置計画の中で施設の効率的な配置を検討し、同様に老朽化している公民館等の建て替えも含めるなどの方策も必要と考える。</p>				
(3)改革・改善案による期待成果				
<p>上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。</p>				
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費を増加させる。